

# 第一貨物 製造物流を本格展開 3M工場至近に新倉庫

第一貨物（本社・山形市、米田総一郎社長）は15日、「東根臨空物流センター」を山形県東根市にしゅん工した。至近にあるスリーエムジャパンプロダクツ山形事業所向けに原材料を保管・供給する製造物流を行う。従来も一部手掛けていたが本格的な受託は初。ノウハウを蓄積し米3Mの主要工場の生産性向上を支えるとともに、業容拡大につなげたい考え。（矢田 健一郎）

所在地は東根市神野西原1817。山形空港の西に位置し、3M山形事業所から約0.9キロ。24時間稼働し、日本を含む世界各地に製品を出荷する同事業所向けに、午前6時〜午後10時まで原材料を同期納入する。分散保管されている原材料を6月以降移管し、

7月上旬に稼働。8月末にフル稼働する。約1.5キロ離れた東根物流センター（東根市）で従来も3M向けに一部原材料の保管・供給を手掛けていたが、今後、新センターを中核に本格展開する。敷地面積は2万3336平方メートル。鉄骨造平屋建て・25度の定温倉庫と2



米田社長は「3Mの発展に貢献したい」と蓄積の役割と米田社長

階建て管理棟から成り、延べ床面積は1万23平方メートル。うち定温倉庫は8130平方メートル。天井高は10メートルあり多層式ラックを設置し、最大5170パレットを収容。床耐荷重は1平方メートル当たり約2ト

製造に専念できる体制支援  
南面の二画にあるパー

4ト車、10ト車で原材料を入庫。約4.5キロ離れた天童支店（山形県天童市）所属の10ト車で



しゅん工した「東根臨空物流センター」。空調や照明の省エネにもこだわった

東根臨空物流センター」とも複数台導入する計画。15日のしゅん工式で米田社長は「3Mの販売物流は長年行ってきたが、製造物流は初。3Mの業務改善に貢献できるように早期に軌道に乗せたい」とし、3Mを物流面で一層支えるとともに、業容拡大を図ると話した。